

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2単位	学年(コース)	3 学年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』改訂版				
副教材	大修館書店『現代高等保健体育ノート』改訂版				

1 科目のねらい

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 学習計画

時期	授業計画と授業内容	
1 学期	4月	(共通) オリエンテーション(1時間) 体づくり運動(3時間)
	5月	【選択1】(16時間) ◇陸上競技(長・短・投) ◇ダンス(現代的なリズムのダンス) 以上から1つを選択
	6月	
	7月	【選択2】(14時間) 球技選択① ※気象条件により体育理論と体づくり運動の関連学習を実施 ◇ベースボール型(ソフトボール) 体育理論(6時間)※教室授業 ◇ゴール型(サッカー) 体づくり運動(4時間) ◇ネット型(テニス) から1つを選択
2 学期	9月	
	10月	
	11月	【選択3】(18時間) 球技選択②
	12月	◇ゴール型(バスケットボール) ◇ネット型(バレーボール) ◇ネット型(バドミントン) から1つを選択
3 学期	1月	
	2月	【特別時間割】(8時間) 球技選択③ ※選択3で履修した種目は選択できない ◇ネット型(バドミントン)
	3月	◇ネット型(卓球) から1つを選択

合計70時間(50分授業)

3 評価の観点

①関心・意欲・態度	②思考・判断	③運動の技能	④知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	運動の合理的な実践を通して、特性に応じた段階的な技能を身につけている。	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

以上の4つの観点を踏まえ、授業の取り組み(授業態度、出席状況、学習活動への参加状況など)、スキルテストなどから総合的に評価している。

4 教科担当者から一言

- ①服装は学校指定の体操着とする。(6月～9月は指定の半袖シャツ、短パン)
 - ②見学者は事前に担当教諭に申し出て、授業中は体育の服装に着替える。
 - ③化粧、装飾品(ピアス、ネックレス、指輪等)はしてこない。
- 以上3つのことを守り、けじめを持って取り組み、楽しく授業をすすめていくようにする。
とにかく出席、参加することが最重要となる。